

令和5年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要

[個人]・・・1名

受賞候補者	功績概要
三輪 彰一 (愛知県)	元愛知県企業庁技術監（水道技術管理者） 長年にわたり水資源行政に関わっており、水源地域の過疎や高齢化問題に対して、豊富な経験を活かし課題解決に向けた支援を行った。豊富な経験と知識を活かし、国土審議会水資源開発分科会木曾川部会及び豊川部会等の専門委員として助言をおこなうなど、水資源行政の推進に貢献した。

[団体]・・・4団体

受賞候補者	功績概要
西郷村立川谷小学校 ・川谷中学校 (福島県)	小・中学校を通して、阿武隈川での清掃活動、河口地域の学校との交流学习（流域による河川の姿の違いを体感等）などの上下流交流や、水質調査や河川周辺の植生調査など、地域と連携し水資源の保全活動に取り組み、子どものうちから水資源の大切さを学ぶ機会を創出している。
揖斐川町 生命の水と森の活動 センター (岐阜県)	地元の小中高生や下流地域の住民などが参加する植林活動、水源地域の環境を活用した体験学習プログラムの実施に加え、協議会が主体となり徳山ダムの施設案内を実施するなど水資源の保全や啓発活動に尽力している。
特定非営利活動法人 地球温暖化対策地域 協議会エコネットあ んじょう (愛知県)	10年間にわたる募金活動で、安城市を支える水源である矢作川源流の森約12haを購入し、水源の森を保全していることに加え、水源の森観察会や川の生き物観察会などを通じて広く安城市民と根羽村との交流を深めることで水資源確保の啓発活動に尽力している。
特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会 (福岡県)	遠賀川流域の広い範囲の水質調査や清掃活動を近隣住民や企業などと連携して実施している。また、小学生への環境体験学習会だけでなく、指導者への指導者養成講座を実施するなど、水資源の保全等に関する啓発活動に尽力している。